

てん菜の生産圃場について

北海道糖業株式会社 農務部 農事技術課

1. はじめに

てん菜は、畑作地帯を中心に野菜作付地帯・水田地帯・酪農地帯でも作付けされ、北海道全域で生産されています。



てん菜圃場とてん菜糖製糖工場



てん菜圃場

2. 畑作地帯でのてん菜生産

北海道の畑作地帯における主な輪作体系は、小麦→てん菜→豆類→馬鈴薯または小麦→てん菜→馬鈴薯で、てん菜は輪作体系を維持する上でも重要な作物です。



てん菜と小麦圃場



てん菜と馬鈴薯圃場



てん菜・大豆・小麦圃場

3. 野菜作付地帯でのてん菜生産

北海道では、たまねぎ・大根・かぼちゃ等多くの野菜が生産されていますが、その多くの圃場では労働力を分散し、適正配分を図るためにてん菜が作付けされています。

4. 水田地帯でのてん菜生産

てん菜は湿害に弱い作物であるため、過湿条件は好みませんが、排水対策を実施している転作圃場では作付が可能です。

このためてん菜は水田地帯における転作作物の一つとして作付けされています。

5. 酪農地帯でのてん菜生産

牧草地は概ね7～10年毎に更新されていますが、その際牧草→牧草ではなく、牧草→てん菜→牧草または牧草→デントコーン→てん菜→牧草の体系を取る事により、更新後の牧草収量が向上します。

このため酪農地帯でも、経営の安定化と牧草収量の向上を図るためにてん菜が作付けされています。



たまねぎとてん菜圃場



てん菜作付水田転作圃場と水田



てん菜圃場と牛舎



デントコーンとてん菜圃場

6. おわりに

前述の通りてん菜は北海道全域で作付けされていますが、近年生産者の高齢化・労働力不足等により作付が減少しています。このため今後に向けては、省力化技術の開発と作業支援体制（育苗・定植・収穫作業等）の構築が重要です。



てん菜苗の育苗状況